

悲鳴・恐怖・戦慄・失神...その先には、快樂。

怪奇漫画の鬼才・伊藤潤二の驚愕の世界を完全映画化!!

富江

愛して、殺して、殺される。
あの美しき怪物が、目覚めてしまった...

森田病院の院長、森田健三の一人娘・由美は、突然失踪した父の行方を探していた。父ばかりではない。最近、この病院では医師や看護婦が次々と姿を消していた。由美は偶然、森田病院に入院している大学生・佐藤文仁と知りあう。二人は事件の謎を解くため、力を合わせるのだった。

やがて一人の謎の女の存在が背後に浮かび上がる。健三が失踪した数日前、夜中に急患で運びこまれた少女がいた。驚くべきことにその少女の体内から、目尻にはくろくろのある生きたまの女の首が抽出されていたのだ。そしてその手術に立ち会った医師は一人残らず行方くらまされている。病院の地下で首を培養し、観察していた健三のノートには狂ったように何度も何度もその女の姿が記されていた。富江、富江、富江、富江、富江...その直後、由美のもとに健三が戻ってくる。しかしそこにあるのは、かつての父の姿ではなかった。

●幻想的で怪奇なストーリー描写と、他と一線を画する恐怖が女子中高生を中心に大反響を巻き起こした怪奇コミック「富江」(朝日ソノラマ刊)。左目の下のほくろが印象的な少女が、無垢な美しさの裏に秘めた氷のような殺意で、関わった人々を次々と崩壊させてゆく。富江は、今までになかったタイプのホラーヒロインである。

●富江はその美貌で男たちに、彼女を殺してその体をバラバラにしたいという強い衝動を抱かせる。そして分裂した個々の体から、さらに幾つもの富江を増殖させるのだ。今作では、富江の恐怖の象徴ともいうべき再生、増殖シーンを最新の特殊造形技術を使いこなし、衝撃の映像を創り出した。また、富江に果敢に挑むヒロイン由美と富江との間に繰り広げられる、壮絶な決闘シーンも見逃せない。

●由美役を演じるのはドラマやCMで活躍中の人気アイドル山口紗弥加。由美と偶然知り合い、ともに富江と闘う青年・文仁役に「GTO」リブ・スライク等で注目を集めた窪塚洋介。文仁の友人で、富江に幻惑される武史役に「がんばっていきまっしょい」で好演をみせた松尾政寿。凄厲な恐怖をさらに増した富江を演じる宝生舞の強烈な存在感も注目だ。監督は斬新な作風で知られるVシネマ界の鬼才、光石富士朗。

2000年2月、富江の美しき恐怖が、日本中に増殖してゆく...

映画の恐怖を倍増させたいあなたは、オフィシャルホームページへ。緻密なサイドストーリーと充実のビジュアル、ツウの映画サイトとは一味違うコンテンツは必見!!



うずまき新報
http://www.uzumaki.to



富江の小屋屋
http://www.tomie.net

WELCOME
TO
HOME PAGE

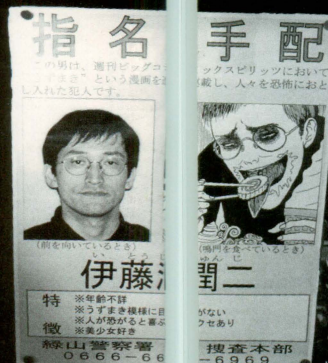
伊藤潤二のホラー世界

恐怖マンガ家、伊藤潤二の「富江」の映画化のおかげで、一挙に映画ファンにも知られるようになったが、この年月の隔たりがある。連作『富江』の第一作は、一九八七年に発表された伊藤潤二の長編『うずまき』のほかに彼の最新作である。『富江』は現在まで十二作の単行本にまとまっている。これからは、伊藤潤二の画力と書き手が、二巻の単行本を通過して本当に驚かされるのは、伊藤潤二の成長ぶりである。

『富江』第一作では平地に描かれた顔が、今では可憐さと恐怖とユーモアを同時に宿すデリケートな表情に変化し、世紀末に相応しい特異なマニエラが、極端な誇張をたたえた美学として完成された作品が『うずまき』である。この作品で伊藤潤二は、怪怖マンガの最もすぐれた才能であることを見事に立証した。

テーマは「うずまき」。昔から多くの画家やイラストレーターの主題に的を絞って、伊藤潤二はそれを注ぎ尽くした。香、鳴門巻き(!)。無限ともいえる渦巻きの図象学的ヴァリエーションの宝庫が、ことごとく禍々しい恐怖の源流に変わってゆく。その奇想天外な着想を驚異の乱舞に転じる伊藤のペンタッチは、もはや巨匠のそれと称されるべきだろう。

『首吊り気球』や『泰山』はまだまだたくさんある。それをぜひ観てもらいたい。(中略) 富江は、今までにないタイプのホラーヒロインである。



伊藤潤二

1963年岐阜県生まれ。商業美術科として働きながら、第1回漫画賞佳作入選作「富江」でデビュー。同賞を設けた「月刊ハロウィン」(現在休刊中)、「ネムキ」等で斬新な作品を続々と発表。98~99年に「週刊ビッグコミックス」で、「うずまき」を連載し、更に人気爆発中の怪奇漫画作家である。

《現在発売中の単行本》
伊藤潤二恐怖マンガコレクション
うずまき 1~3巻 (小学館)

ようこそ...形あるものすべてが渦を巻く場所、黒渦町へ。

●新たな世紀を目前に控えた現在、巷で不可思議な現象が起きている。とある飲料のCMや、烏龍茶の缶のデザイン、某ゲーム機のロゴマークなど、世の中のあちこちに、ある文様が蔓延しはじめているのだ。二〇〇〇年二月ついにその文様そのものをタイトルに冠した映画が公開される。現実と非現実が交錯し、恐怖と美が奇妙に融合した究極の怪奇エンタテインメント「うずまき」である。

●キャストはヒロイン桐絵役に新人の初音映莉子。映画は初出演だが数々のCMでみせる表情が印象的な逸材。また、ボーイフレンド・秀一役にCMでも活躍する人気モデルフーファン。そして桐絵のクラスメイト・藤子役に「らせん」で山崎裕太を演じて話題をさらった佐伯日菜子。秀一の母・雪江役に高橋聖子。父親役には大杉漣。

●山間の小さな町で次々に発生する「うずまき」をめぐる怪現象。映像で表現するのは困難といわれた圧倒的な想像世界に挑むのは映画初監督となるHiguchinsky。ラルク・アン・シエルをはじめ、現在活躍する様々な人気アーティストのビデオクリップを手がけた高橋の映像作家である。今作では最新のCG技術をふんだんに使用、かつてない斬新な映像で、不条理な恐怖を視覚的に追求する。エンディングテーマは浜崎あゆみ、hitomi等に数々のヒット曲を提供した長尾大が率いるDO A S Infinity。二〇〇〇年2月あなたは知るはずだ。本日の恐怖は、こんなにも快感であることを。

物語
「なあ、おれと駆け落ちしないか?」幼なじみのボーイフレンド・斉藤秀一からのとげんのか、告白に戸惑う五島桐絵。最近、秀一は何かに怯えているかのように元気がなく、桐絵はすこし心配していた。やがて、桐絵の通う高校の生徒が、らせん階段から飛び降りて死んだ事件をきっかけに、秀一はおそろしいことを口にする。二人の暮らす黒渦町が得体の知れない「うずまき」の力に取り憑かれているというのだ。その後、秀一の父・敏夫までが謎の死を遂げると、二人の周囲に禍々しく、怪奇なうずまき現象が次々と巻き起こりはじめる!!

GAME化決定!! 「うずまき〜電撃怪奇篇〜」 2/3発売 ¥3,500(税別)
「うずまき〜呪いのシミュレーション〜」 3/4発売予定 ¥3,800(税別) 発売・販売 オメガ・ミコト株式会社

